

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ —新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験—

公募概要

新技術を活用した平城宮跡歴史公園のスマート化

平城宮跡歴史公園の抱える現状・課題

- 平城宮跡歴史公園は、特別史跡・世界遺産「平城宮跡」を国営公園として保存活用を図っている。
- 平成30年3月に利用拠点となるエリアがオープンし、年間約140万人程度の来園が見込まれる一方、広大な園内での移動の円滑化や、復原整備以外の手法による更なる歴史体験の充実等が今後の課題。

解決方針

従来より取組んでいる特別史跡・世界遺産「平城宮跡」の保存へ支障を及ぼさないことを前提として、産学官コンソーシアムのもと、民間提案型スマート技術を活用して、公園マネジメントを抜本的に改善

① 民間提案型スマート技術の公募（3月1日～5月31日）

- 国営公園の抱える課題テーマ及び解決の方向性を設定し、それに対する民間企業等からの提案を公募。



② 民間事業者の選定（7月18日）

- コンソーシアムにおいて、園内で社会実験を行う民間事業者等を選定。



③ 民間事業者による社会実験の実施（秋以降）

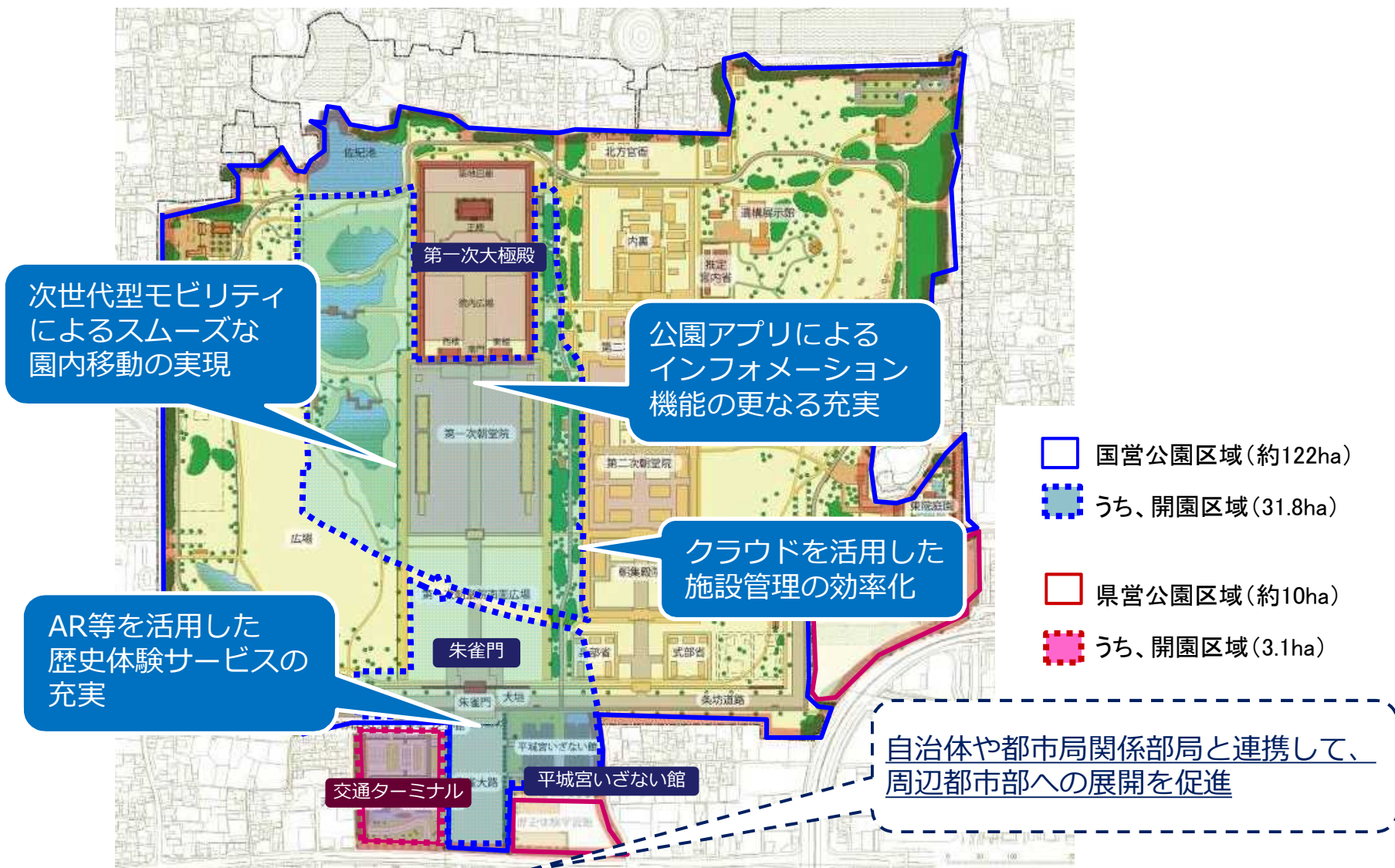
- 選定された民間事業者が、園内において実用化に向けた社会実験を実施。
- コンソーシアムにおいて実験結果を分析・検証を行い、民間事業者へフィードバック。



④ スマート技術の実用化の検討・実施（2020年以降順次）

- 実験結果を踏まえ、民間事業者の独立採算ベースでの実用化を検討。
- 実用化されたものは、国営公園の管理委託業務と連携した運営へと移行。

平城宮跡歴史公園の目指す姿



産学官コンソーシアムと公募の関係性

- ① 民間提案型スマート技術の展開に向けた協議・調整のプラットフォームとして、学識者や周辺自治体を含めた「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム」を設置。

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジコンソーシアム

有識者

国営公園事務所（事務局）

国営公園・県営公園 関係者

文化庁、奈良文化財研究所

周辺自治体（奈良県・奈良市関係部局）

- ⑤ **社会実験の実施（秋以降）**

選定された
民間事業者

- ⑥ ・結果の分析検証
・実験への
フィードバック
・実験間での
データ共有

- ② **公募（3月1日）**

- ③ **提案（～5月31日）**

- ④ **選定※（7月18日）**

スマート技術
を有する
民間事業者

（コンソーシアムへ参画）

※選定は別途設置する評価選定委員会で行う。

→参画後は、社会実験の進捗・結果を報告

- ⑦ 実験結果を踏まえ、民間事業者の独立採算による実用化を検討し、実用化。
（実用化されたものは、国営公園の管理委託業務等と連携した運営へと移行。）

2019

2020以降

募集テーマのイメージ

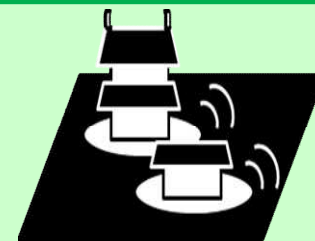
① 新たなモビリティサービス

自動運転等による次世代型モビリティを活用して、安全かつ効率的な園内移動を実現。



② AR技術を活用した歴史体験サービス

最新のAR・MR技術等を活用して、公園の有する文化財等に関する歴史体験サービスを多言語で提供。



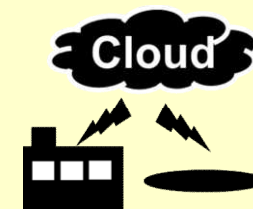
③ アプリケーションによる公園情報の受発信サービス

携帯向けアプリを活用して、園内の利用情報やイベント情報等を、多言語で送受信できるシステムを構築。



④ クラウドによる施設管理の効率化

施設管理の効率化・迅速化を図るため、クラウドシステムを活用した公園台帳システムを構築。



⑤ その他

公園の利用や維持管理・メンテナンスの飛躍的な向上に資するもの（例：ドローン、AIカメラ、デジタルサイネージ等）

⑥ データプラットフォーム

①～⑤で取得される各種ユーザーデータの収集の仕組み及び当該データの統合・分析・共有のためのプラットフォーム

※ : 公園利用サービスの向上 : 公園の運営・維持管理の効率化 : その他

社会実験におけるデータ収集・活用イメージ

